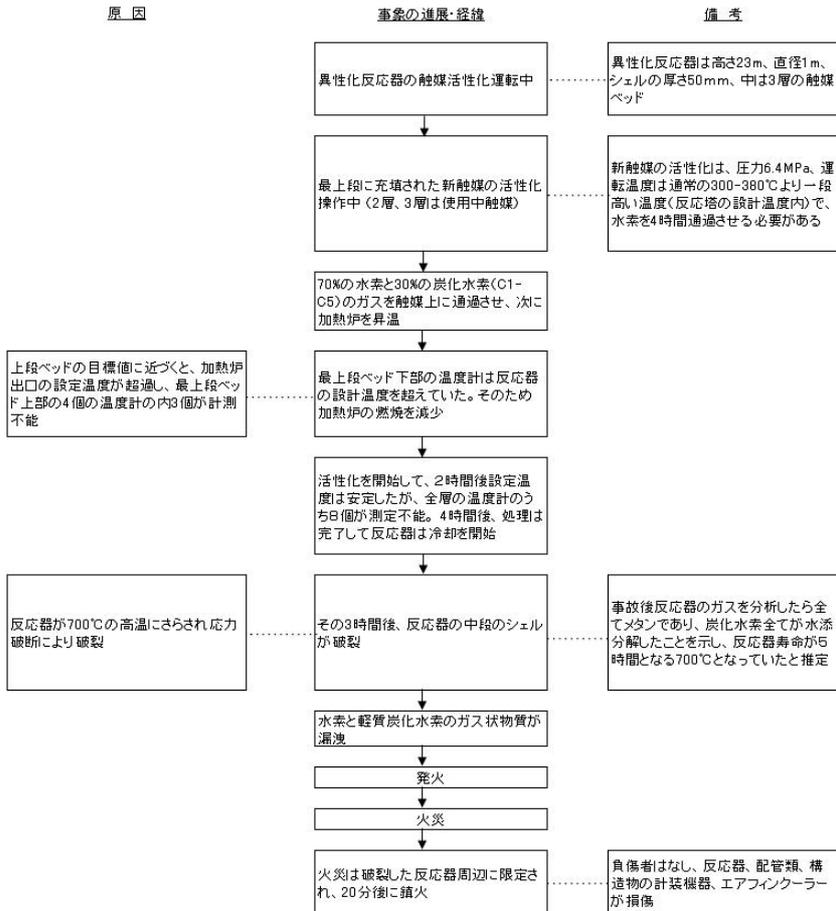




# 潤滑油装置の異性化反応器が破裂しガスが漏洩・火災

## 事象進展図

00174	潤滑油装置の異性化反応器が破裂しガスが漏洩・火災
発災年月日	1994年5月22日
装置	潤滑油装置の異性化反応器
運転状況	新触媒活性化運転中
特徴	異性化反応新触媒活性化操作中に700℃の高温にさらされ、応力破断により反応器のシェル破裂



再発防止策
記述無
安全専門家コメント
触媒の活性化運転は2回目ということで、技術的にまだ未知なところがあったことは否めない。30%の炭化水素を含んだ水素が適当なのかという問題もある。 しかし、実際に運転している加熱炉出口、触媒層の熱点の温度が振り切れてわからないままに運転したことが信じられない。 運転技術者は、温度、圧力、液面、流量などの情報から、触媒層で今何が起きているかを想像することが仕事である。そうすると還元された触媒金属の様子も見えてくるようになる。そのもとになる温度がわからなかったら運転の判断ができず、仕事に参加していないことになる。

引き金事象発生の原因	事故の引き金事象	事故に関係した直接・間接要因
・反応器内で炭化水素が分解反応 ・触媒層の温度計測不能	反応器内700℃の高温により破断	《人的要因》 ・作業確認不足・ミス ・能力・経験不足 《情報要因》 ・物質特性・危険性の評価・検討不足



## 潤滑油装置の異性化反応器が破裂しガスが漏洩・火災

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

・ TNO, FACT, No.18732

▶ 添付資料

▶ キーワード(> 同義語)

🔑 加熱炉 > ファーネス

🔑 反応器 > 反応塔,リアクター

▶ 関連情報